

## し尿処理施設整備基本計画（素案）の作成について

### 1. 概要

栃木、大平、都賀及び西方地域から発生する、し尿、浄化槽汚泥及び農集排污泥を処理している栃木市衛生センターは、稼働から40年が経過し老朽化が進行していることから、藤岡及び岩舟地域のし尿を含めて処理できる施設を令和12年度までに整備するものとしている。

本計画は、栃木市衛生センターを環境省の循環型社会形成推進交付金を活用した汚泥再生処理センターとして整備するに当たり、本市にとって最適な水処理方式及び資源化方式の選定等の基本事項を整理し、施設整備の実施方針を明らかにすることを目的として策定するもの。

今般、本計画の素案を作成したことから、市民等のご意見を計画に反映させるため、今月5日から1月5日までパブリックコメントを実施している。

### 2. 計画の名称

し尿処理施設整備基本計画

### 3. 更新施設の概要

施設名称	(仮称) 栃木市汚泥再生処理センター
施設規模	85kL/日（し尿 7kL/日、浄化槽汚泥 68kL/日、農集排污泥 10 kL/日）※ (現時点の見込値) ※現在、佐野市に処理を委託している藤岡及び岩舟地域のし尿等を含む。
処理方式	水処理方式：浄化槽汚泥混入比率の高い脱窒素処理方式 資源化方式：助燃剤化方式
建設場所	栃木市城内町2丁目61番5号（既存施設敷地内）
敷地面積	16,339.88m <sup>2</sup>
放流先	一級河川巴波川
建設期間	令和9年度～令和12年度（予定）
概算費用	約51億2,700万円（税抜き） ※循環型社会形成推進交付金を活用する見込み

#### 4. 既存施設の概要

施設名称	栃木市衛生センター
施設規模	75kL/日（し尿 55kL/日、浄化槽汚泥 20kL/日）※当時の設計値
処理方式	水処理方式：高負荷脱窒素処理方式 資源化方式：民間で資源化
敷地面積	16,339.88m <sup>2</sup>
放流先	一級河川巴波川
竣工年月	(受入貯留棟) 昭和 60 年 3 月 (水処理棟) 平成 7 年 12 月

#### 5. 既存施設と更新施設との比較

	既存施設	更新施設
施設名称	栃木市衛生センター	(仮称)栃木市汚泥再生処理センター
処理対象物	栃木、大平、都賀及び西方地域のし尿、浄化槽汚泥及び農集排汚泥	市内全域のし尿、浄化槽汚泥及び農集排汚泥
施設規模	75 kℓ/日	85 kℓ/日
水処理方式	高負荷脱窒素処理方式	浄化槽汚泥混入率の高い脱窒素処理方式
資源化方式	民間で資源化	助燃剤化方式
竣工年月	受入貯留棟 昭和 60 年 3 月 水処理棟 平成 7 年 12 月	令和 13 年 3 月 (予定)

#### 【問合せ先】

生活環境部 クリーン推進課  
施設係 担当：青木・若菜  
電話：0282-31-2446